

はせだより

広報



「有野実苑」さまにご協力いただきました

◆千葉県産の新鮮な苺を、皆さまへお届けします！



栄養管理委員会の一環として「有野実苑」さまに伺いました。有野実苑さまには、食材の納品にご協力いただいております。患者さまのお食事として提供しております。

この度、苑内にある「ありのみファーム」を栄養科や料理長、看護師などの多職種と共に拝見させていただきました。こちらで栽培している苺は、千葉県内でも寒暖差のある台地と豊かな自然の栄養を含んだ天然水で育てた苺は、とても甘く、深い味わいが特徴です。

後日、“ほっぺが落ちるほど美味しい”で有名な「紅ほっぺ」を提供したところ、その粒の大きさと甘みに患者さまからも驚きの声がありました。これからも、美味しい食材を活かしたお食事の提供ができるよう、工夫を凝らしてまいります。



▲おしゃれな農園レストランもあります！



▲農園のお話を伺っている様子



▲看護師やリハビリスタッフも伺いました



▲ありのみファームでは10種の苺を栽培

「医療機器安全管理委員会」を実施しています



▲「医療機器安全管理委員会」で正しい取り扱いを学びます



▲使用方法、操作方法も丁寧に教えていただきました

◆新たな人工呼吸器が導入されました

「医療機器安全管理委員会」は医療機器による医療事故の防止に向け、適切かつ効率的に運用するために行われています。一人ひとりがしっかりと理解し、運用していくことが患者さまのより良い医療提供につながります。

今回、「株式会社フィリップス・ジャパン」さまより新たな“人工呼吸器”を導入いたしました。この機器は多様な換気モード、アラーム機能、生体モニタリングなどが備えられています。また、使用可能な呼吸回路タイプや回路径も多く、小さなお子さまから大人まで幅広い患者さまに適応することができる呼吸器です。

新しい機器を導入するだけでなく、病院全体の環境や技術面なども向上できるように努めてまいります。



▲新たに導入した人工呼吸器

◆イースターの「卵とうさぎ」の小話をご紹介します

イースターといえばキリストの「復活祭」と同時に、カラフルに彩色された「イースターエッグ」と「イースターバニー」が有名ですが、なぜ「卵とうさぎ」なのでしょう。諸説ありますが、多くの文化で「卵」は“再生”や“生命のはじまり”、「うさぎ」は多産であることから“豊穰”や“繁栄”、“生命”の象徴とされており、それが「復活」を連想させるようになったそうです。(事務員R)



入院・転院のご相談

<空所情報>※4/13現在
回復期病棟(0床) 療養病棟(2床)
ホームページで確認できます



医療法人社団誠和会長谷川病院
■地域連携部(MSW)：渡邊、山本、安部
TEL:043(444)0137
FAX:043(444)0257
HP:<http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>

